

HAMAYU

はまゆう

特集 For Youで変わる・変える! 2024

2024
January
No.729

1



ココちゃん

For Youで 変わる・変える！ 2024

いよいよ、2024年がスタートしました。新年号のはまゆうでは、皆さんの一年が充実することを願って、社員の方々や外部講師の方が心掛けている「For Youのきもち」を特集します。「For You」の精神によって、仕事やプライベートに、さらにやりがいが生まれている皆さんの日々を、早速紐解いていきましょう。





私が考える For You 精神

思いやる気持ちで、仕事と太鼓の人材育成

本社 購買グループ 福田 美和さん

知識と、社内外との協調が大切

購買業務に携わって12年、この仕事では多種多様な商品を取り扱うため、仕様を確認するのはもちろんのこと、定期的に購買グループ員で勉強会を行い、また立案検査や工場サーベイなどで、専門知識を高める努力を続けています。また、発注関連は他部署からの依頼を、優先順位をつけながら調整して進めています。大切にしているのは、常に先の業務を見据え、自分にできることを考えて行動すること。他部署や取引先などと協力して目標を達成しています。

小倉祇園太鼓歴30年で地域と共に

プライベートでは、小倉祇園太鼓に参加して、もう30年が経ちました。仕事や家庭、子育てと両立させながら、毎年7月1日から本番まで仕事のあとに練習に参加しています。また、所属する「浅野会」の運営にも関わり、活動方針や練習方法、地域・近隣住人への配慮などさまざまなことを話し合ってきました。会議では、会員の話をしっかり聞いた上で自分の意見を言うなど、個々の意見を尊重する気持ちを忘れないようにしています。

自分を育ててくれた祇園太鼓に貢献したい

小倉祇園太鼓の良さは、幼児から年配者までいろんな人と関わり、礼儀を学びながら刺激を受けて、社交性が高まることです。10歳の娘も小さい頃から練習や祇園祭に連れて行っていたところ、2年前から自主的に「太鼓を叩きたい」と言い始めたので、演奏の楽しさを伝えていきます。目標はカッコよく、美しい演者となり、そして子ども世代の後継者を育成して、地域と一緒に404年目の歴史と伝統を継承していくことです。



2022年に小倉祇園太鼓デビューした10歳の梨乃ちゃんと親子共演

心掛けていること

- ✓ 何事も挑戦、常に勉強し続けること
- ✓ 対人関係は「個」を尊重し、人の話をしっかり聞く
- ✓ 協調性を大切に、自分にできることを考えて行動

職場では



鑄造や溶接の専門書を読み、仕事外でも自己啓発に励んでいます



仕事も太鼓も協調性を大切に
チームでパフォーマンスを
向上させたいです!

Profile

本社 購買グループ
福田 美和さん

2009年に八幡支店業務グループに入社し、2011年から本社購買グループに勤務。購入・外注の見積もり照会、発注、検収業務をはじめ、設備投資案件、貸与業務、作業着関連に従事。設備投資車両や海外調達、鋳物なども勉強中。



私が考える For You 精神

求められることに応え、周りを笑顔にしたい

八幡支店 製鉄課 吉岡 秀拳さん

“誰かのために”が原動力

私にとって「誰かのため」を思って行動する精神は、子どもの頃から自然と身に付いたものだと思います。小学2年生から高校2年生まで地元のボーイスカウトに入り、野外活動を通して、誰かの笑顔のために何をするのか、求められることにどう応えられるかを学んできました。しばらく活動から離れましたが、社会人になって東日本大震災が起こり、日々伝えられるニュースに居ても立ってもいられなくなってボーイスカウト活動に復帰。ボーイスカウト活動で育まれた自主性が、今でも私の原動力だと感じます。

仕事の経験を生かして後輩たちを指導

今は小学生から大学生のメンバーに、リーダーとして知識や経験を伝えています。目標を持ち、悩みがあれば相談

し、自ら考え課題を乗り越える。そのためには、風通しの良い雰囲気と信頼関係の構築が欠かせません。また、知識がないと教えられないので、私自身が常に正しい知識を持つことも必要です。実は、濱田重工で「安全対策計画書」を作成した経験を生かしてボーイスカウト活動の計画書を作ることで、メンバーの安全対策・安全確保につながっています。また、仕事で学んだ「自ら手本を示し、相手に試してもらう方法」もメンバーの指導に応用しています。

活動の幅を広げて仕事と両立

ボーイスカウト活動は生きがいです。仕事との両立は大変でも、求められることに応える喜びがあるから頑張ることが出来ます。今後は、新しくスタートしたシャボン玉のイベントにも力を入れ、多くの人を笑顔にしていきます。

心掛けていること

- ✓ 求められることに応え、誰かの笑顔のために行動する
- ✓ 明るく風通しの良いチームづくり、信頼関係づくり
- ✓ 自ら学び、知識や経験を最大限に生かす

職場では



大型車両の安全運転に努める

Profile

八幡支店 製鉄課
吉岡 秀拳さん

2004年に八幡支店製鉄課に入社し、外部で異業種経験を積んだ後、2023年5月に濱田重工八幡支店製鉄課に再び入社。製鉄所内で産業廃棄物の収集と運搬を担当する。ボランティアで行っているシャボン玉アーティストとしても活動中。

活動の様子は
こちらから



ボーイスカウトで幅広い年代に
教えてきた経験を生かし
仕事では昇格を目指して頑張ります!



私が考える For You 精神

相手を尊重し、誠実な姿勢で寄り添う心

光支店 循環資源課長 南 徹さん

コミュニケーションが大切な仕事

私にとって、64名いる部下の安全や健康は何より大切です。そのため、毎朝のミーティングや交代勤務時には現場に足を運び、それぞれの顔色や体調を確認して、プライベートの話題も交えながらのコミュニケーションを大事にしています。また、上司と部下の枠を超えて自由に意見交換ができる環境を整え、間違いがあった場合には後輩に対しても謙虚な姿勢で謝るようにしています。心掛けているのは、「相手を尊重し、誠実な姿勢で寄り添う」こと。「傾聴」に重きをおき、信頼のある家族のような関係を築くことを目指しています。

より高みを目指し

仲間と挑戦し続ける

中学時代から始めたハンドボールは、53歳の現在もずっと続けています。社会人クラブチームでは監督を経験し、40歳以上のマスターズチームでは選手として全国大会に出て4度優勝しました。今は山口県内の実力派(過去)選手を集めた新しいチーム「HC40」を立ち上げ、監督兼選手として活動しています。山を2往復する走り込みやジムでの筋力トレーニングなど自主練は大変ですが、最年長の私が努力することで、チーム全体のモチベーションを高められると感じます。



社会人山口県選抜チームを南さんがコーチとしてバックアップ

仲間の成長のために 自分ができることを

また、時には自分よりも若手の出場を優先して経験が積めるようにサポートしたり、控えのメンバーには「日々頑張るあなたの存在がチームの勝利に貢献している」と伝えたりして、それぞれが活躍できるよう力を尽くしています。これは仕事でも同じことです。今後も仕事と両立しながら、仲間とハンドボールを楽しみます。



心掛けていること

- ✓ 相手への尊重と誠実な姿勢
- ✓ 傾聴で家族のような人間関係を築く
- ✓ 人の成長をサポートする気持ち

職場では



頻繁に現場の部下と対話を重ねます

現役でプレーしたいです。

ハンドボールはできるだけ長く

育成に力を入れ

職場では安全順守と優秀な部下の

Profile

光支店 循環資源課長
南 徹さん

1990年1月に濱田重工光支店入社後、日鉄住金ステンレス(株)山口製造所(光エリア)構内で鉄の副産物リサイクルに従事。また一般社団法人山口県ハンドボール協会の社会人委員会委員長を務める。



私が考える For You 精神

定年後も積極的に人と関わり、新たな挑戦

OB 左藤 泰生さん

「人」をよく知り コミュニケーション

私が日本製鉄㈱に入社した18歳のころは人見知りでした。社会人経験を通じて、相手のことをよく知り、褒めることができる上司になりたいという思いから、努力して性格が変わったように思います。濱田重工に、安全衛生推進グループ長として入社した際も、現場スタッフに「こうなさい」など、直接的な指示をしないように心掛けていました。その人が何を考え、どうしてほしいのかを優先して、接してきたことがFor Youの原点です。

定年後、半年の休養後に社会復帰

サラリーマン生活を終えて半年間、家で休んでいましたが、2020年になりアルバイトを始めました。人と話すことが好

きで、社会とのつながりが欲しいと思ったことがきっかけです。最初は、製鉄所構内、その後はガソリンスタンドのブースや、梨農園で働きました。年下の同僚から仕事を教えてもらうことに、抵抗はありません。仲間との釣りを続けたいこともあり、無理のないシフトで働いています。

スクールバスの運転手で 活力をもらう

70歳になる現在は週に2〜3回、大分県の湯平駅から由布院駅間で、小学生5名を送迎するスクールバスを運転しています。人の命を預かる仕事で常に緊張感があるなか、小学生から「運転手さん、ありがとうございます!」とお礼を言われることが、活力になっています。今は人手不足で、アルバイトの求人はたくさんあります。若い人は多様で新しい

情報を持っているため、一緒に働くことで刺激を受けています。いつまでも貪欲に、いろんなことを吸収しようとする気持ちが大切だと感じます。

職場
では



濱田重工では現場パトロールでの声掛けを大切に働いています



心掛けていること

- ✓ 自分で選択肢を狭めず、いろんなことに挑戦する
- ✓ 壁を作らず、年下に素直な気持ちで教わる
- ✓ 小学生や周りからの「ありがとうございます」が働く原動力

自分ではできるはず! と言い聞かせ
健康を維持するためにも
まだまだ働き続けます。

快眠
アイテム



かかりつけ医に「自分に合う枕」を薦められ、
良い睡眠で健康

Profile

OB
左藤 泰生さん

日本製鉄㈱から出向したのち、2008年4月から濱田重工に入社。大分支店安全衛生グループ長として勤務し、2019年7月に退職。今は古文書の解読と釣りを楽しみつづ、アルバイトとして複数の職場で働く。

信念を持って真摯に接し、理解し合える関係へ

大阪事業所 整備・工事課職長 浅野 兼史さん

得意なところが伸ばせるようにサポート

作業環境や作業場所が日々異なる職場なので、まずは社員の安全が最優先です。また、若年層が多いため、技能の向上にも力を入れています。現場で溶接作業を見せながら教え、随時、練習やテストも実施して上達の進捗をチェックしているんです。一人ひとりの技術や性格は違うもの。得意・不得意もあります。それぞれの得意なところを伸ばすように心掛け、困っているときはきちんと話を聞き、「最後は必ず助ける」という気概で過ごしています。

華やかな大工方から後進を育てる環境へ

岸和田だんじり祭に参加し始めたのは、物心がつかつかないかの頃です。27歳から15年間は山車の上で舞ったり進行方向を指示したりする「大工方」

を担当していました。地面と違って不安定なところで上下運動をするわけですから、屈伸しながらの縄跳びなど、週5回・各2時間の練習を欠かしたことはありません。現在は警備を担当し、祭を円滑に運営するために地域の方々や警察と協力しています。

指導するときに大切なのは信念を持って伝えること

仕事とだんじり祭に共通していることは、チームの雰囲気や士気をきちんとつくり、若手を育てて継承していかなければならないこと。まずは「これが好きだ」と思える気持ちを大切にしています。「好き」があれば技量もおのずと伸びますし、長く続けられます。特にだんじり祭は、住んでいる地域の伝統を守ることにもつながります。そして、必要以上に周りを慮るのではなく、信念を持って真摯に相手に接し、わかってもらえるように伝えることが大事だと考えています。

心掛けていること

- ☑ それぞれが「この仕事・祭が好き」と思える気持ちを大切に
- ☑ チームの和をきちんとつくる
- ☑ 信念を持ち、わかってもらえるように伝え続ける

職場では



「部員みんなが技術と経験を身に付けて一人前になり、活躍できる環境を広げるのが目標です」と浅野さん

Profile

大阪事業所 整備・工事課職長
浅野 兼史さん

大阪製鉄株式会社をはじめ多岐にわたる工事関係の監督者、製作、破損の補修作業、新規機材の設置、クレーンのメンテナンス作業などに従事。プライベートでは町内会の野球チームの監督を務める。

◀左上頂上
浅野さん



幸せな瞬間です。

団結できたときが

みんなで同じ目標を持ち

「だんじり祭の良さは、信頼できる仲間がいること」と話す浅野さん



私が考える For You 精神

万全な段取りで、四季のイベントを家族と共に

イベント開催で会社の仲間と親睦を深める

私たちが所属する共栄会アウトドアクラブは2000年に発足しました。きっかけは、当時のK課長から「みんなでバーベキューをして、お酒を飲んで、山で採ったきのこを食べて、大笑いしましょう!」と呼び掛けがあったからです。以降、山菜採り、たけのこ掘り、きのこ狩り、貝堀、キャンプなど、四季折々に社員・家族が交流するイベントを継続してきました。

幹事の共通点は「世話好き」

趣味で毎週のように山を下見して、山菜採りやきのこ狩りの開催時期を考えています。趣味を深めるうちにきのこの鑑別の知識が身に付いたため、イベントに生かしています。

みんなが楽しんでいる笑顔を見ることが一番で、事前計画や当日の準備・片付けなど、面倒に感じたことはあり

ません。「お・も・て・な・し」の精神を大切にしています。

なかには「子どもの学校行事と重なり、参加できなくて残念…」と伝えてくれる社員もいます。やむを得ず参加できない方の気持ちも、考えるようにしています。

楽しい、おいしいと感じる喜びが活力へ

開催場所は子どもも歩きやすいところを選び、準備や料理などは性別関係なしに役割分担、お酒が飲めない方にも楽しんでもらえるように配慮しています。また、工場が四直三交代のため、参加できるグループが平等になるように考えています。イベントを通じて、参加者同士の助け合いの精神が根付き、会社でもコミュニケーションが取りやすくなったと感じます。今後もFor Youの精神で、安全に楽しくイベントを継続していきます。

心掛けていること

- ✓ 子どもやOBにも安全なイベントを企画
- ✓ 新鮮な獲物を参加者全員においしく食べてもらえる調理法
- ✓ 四直三交代の社員が交代で参加できる日程を調整
- ✓ 休日はワイワイ楽しむ姿を部下に見せる



Profile

グループ会社ハマダレクテック(株)(旧濱田重工シリコンウェハー事業部)で、工場の操業を支える管理・監督者として活躍中。その一方で、2000年代に発足した共栄会アウトドアクラブの幹事として、社員・家族間の親睦を図るイベントを企画・運営しています。

公私共にみんなの安全と健康

良好な人間関係を支援して

楽しく続けていきたいです!



私が考える For You 精神

皆さんの想いを大切に、人と人をつなぐ

焼酎プロデューサー（商標登録） 黒瀬 暢子さん



「焼酎女子会enjoy!」であいさつする黒瀬 暢子さん

Q 仕事をするうえで大切にしていることは？

A 相手を尊重し、大切にすること

私が心掛けているFor You精神は、「相手を尊重し、相手の想いを大切にすること」です。焼酎プロデューサーとして活動するなかで、常に相手のために何ができるかを考えています。

そもそもこの仕事に携わるようになったのは、私が鹿児島で焼酎造りを手掛けてきた「黒瀬杜氏」の末裔だと知ったのがきっかけでした。代々受け継いできた焼酎文化を広め、日本の職人の技術と素晴らしさを次世代に残すことが私の使命だと感じ、焼酎プロデューサーの活動を始めました。

Q 蔵元とお客さまの間に立ち、どんな価値を提供しているのでしょうか？

A 双方のニーズのマッチングに力を入れています

活動をスタートした当初、「SNSで発信してみたら？」というアドバイスを受け、現在に至るまで約5年にわたり、毎日、情報発信を続けています。これによって、さまざまな事業の拡大につながりました。今は焼酎を飲んだことがない人や苦手な人に親しんでもらえるよう「焼酎女子会enjoy!」などを開催して焼酎文化を広め、人と人とのご縁をつなげています。

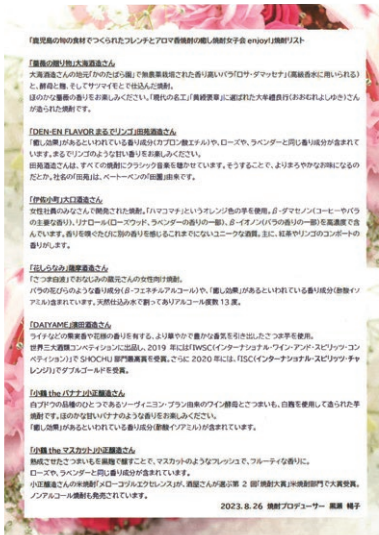
イベントを行ううえで心掛けているのは、お客さまと蔵元の双方に有益な情報を提供し、ニーズをマッチングさせることです。蔵元にはあいさつや要望を伺うために定期的に訪問。「焼酎に関する女性の意見が聞きたい」という要望があると、イベントでのお客さまのお声をまとめ、終了後に報告書を作成して蔵元に提供しています。また、参加者の皆さんは焼酎を飲み慣れていない方が多いため、味の説明をわかりやすく明記し、食事の面でもご満足いただけるように心を配っています。

コロナ禍以降、オンラインでの焼酎女子会も実施するようになりました。焼酎＋アロマや和菓子のプチ講座、手相占い、蔵元の女性の話を聞く会など、さまざまなニーズに沿ったコンテンツを提供できるように努めています。



参加者も蔵元の皆さんもwin-win

蔵元「焼酎のテロワール」の講座では、直接蔵元方（壱岐焼酎・球磨焼酎・薩摩焼酎）から学びました



初心者のお客さま向けに厳選した焼酎や特徴がわかる焼酎リストをご用意

Q 反響はいかがでしたか？

A 次第に応援してもらえるように

焼酎イベントを通して、蔵元からは「消費者の声、特に女性や焼酎初心者の声が直接聞ける」と喜んでいただいています。また、お客さまからは「焼酎の面白さを知った」「飲み比べて自分の好みがわかった」「蔵元と直接交流ができてうれしい」という声が寄せられました。焼酎の特徴を説明した焼酎シートを用意し、イベント時の写真をプレゼントする心遣いも、今回のインタビューのテーマでいう、「For You」の精神なのかもしれません。一途に続けたことで、企業や自治体の協力が増え、規模も大きくなり、多くの人に支援していただけてうれしく思っています。

Q ズバリ、黒瀬さんの喜びとは？

A 人と人とのご縁が繋がること

私にとって「焼酎がおいしい」と思ってもらうことも大切ですが、何より、人と人をつなぐことが喜びです。例えば、イベントでの席順でご縁が広がったり、

蔵元とお客さまがつながって話が弾んだりすると、「やってて良かった」と、うれしい気持ちになります。人には個性や魅力があるからこそ、他の人と交わることで、さらに可能性が広がります。そのような新たなご縁を未来へつなぎ、化学反応を生み出せる今の活動は、楽しく充実しています。

Q 今後の展望を教えてください

A 広く、世界へ焼酎を広めたい

今後の目標の一つに、日本文化と焼酎女子会を結びつけたイベントの開催があります。例えば日本古来の陶芸文化と結びつけて、陶芸家のストーリーや、酒器と焼酎の味の関係などを伝えと、イベントのテーマ性が広がるでしょう。角打ち文化や日本の食文化と組み合わせての交流イベントも、面白いものになると考えています。また、対面での焼酎女子会の頻度を増やし、オンライン焼酎女子会も規模を拡大して、より多くの女性に焼酎の魅力を広めていく予定です。そして、いずれは海外にも焼酎文化を広げ、人と人だけでなく、国と国をつなげていくことが夢です。

心掛けていること

- ✓ **“想い”や“文化・技術”を大切に**
する
- ✓ **女性の感性で新しい焼酎市場**
づくりに挑戦する
- ✓ **人と人とのご縁を未来へつな**
いでいく

イベントで話す時…

「焼酎女子会enjoy!」は毎回大盛況、笑顔にあふれています。目指すは開催回数200回!

初心者用に焼酎リスト&焼酎

初心者のお客さま向けに厳選した焼酎や特徴がわかる焼酎リストをご用意

参加者も蔵元の皆さんもwin-win

蔵元方の商品について、参加者がたくさん質問



「焼酎女子会enjoy!」は毎回大盛況、笑顔にあふれています

Profile

焼酎プロデューサー (商標登録)
黒瀬 暢子さん

福岡県遠賀郡出身、福岡県立東筑高校卒。早稲田大学卒。料飲稲門会九州支部長。日本中に焼酎造りを広めた黒瀬杜氏の末裔として、焼酎が苦手な人、特に女性に焼酎に親しんでもらう「焼酎女子会enjoy!」を定期的に開催(2023年10月現在118回実施)。焼酎の魅力・文化を積極的に発信し、焼酎ファンの輪を拡大している。

生き生き働いている若手社員のON/OFFを大解剖!
毎号、各部門の10代・20代の社員をクローズアップします。

大型車の運転に 根気よく挑戦

私が所属する循環資源課は、光製鉄所内の発生物から有価金属を回収しリサイクルを行っています。工場から出てきたスラグを大型車で運搬することが、私の主な業務です。

大型車を運転する際のハンドルの切り方や、感覚をつかむまでに苦労したことをよく覚えています。先輩社員が優しく丁寧に教えてくださったおかげで、今では大型車を乗りこなせるようになりました。



ラガー車やショベルなど、コツをつかむまでひたすら練習をしました

※安全に配慮したうえで誌面掲載用に撮影しています。

未来の後輩のために 今の自分ができる ことを意識

所属グループでは私が一番若手ですが、後輩に教える立場になることを考えて作業しています。未来の後輩が少しでも作業しやすいように、効率や作業負荷の軽減を特に重視。自分で考えて作業したことで、先輩社員から「よくやった!」と褒められたときに、やりがいを感じます。一人作業の多い職場ですが、休憩時間に先輩社員と趣味の話をしながら交流を深めています。



グループ内のコミュニケーションは盛んです

めげない性格で 仕事も野球も 全力投球



光支店 循環資源課
くろ だ たい し
黒田 泰司さん(25歳)

2017年4月入社。小学1年生から熱中している野球を、社会人野球の選手として続けたいと思い入社を決意。現在は仕事をメインとし、三交代勤務をこなしている。

ショッピング 10%

広島のアウトレットモールによく行きます

野球 80%

休日は先輩社員と草野球をしてリフレッシュ

黒田さんの
元気の素

お寿司 10%

無類の貝好き
週に一度は回転寿司店へ

野球漬けの 日々が楽しい

職場の先輩に誘われて草野球チームに入りました。休日や、夜勤前に野球をして楽しんでいます。最近新しいグローブを購入したため、丁寧に手入れをして使っています。プレー以外では、有休を使ってマツダスタジアムに観戦に行くことも。セ・パ交流戦で、私の好きなソフトバンクホークスの柳田選手から元気をもらっています。



野球は私の人生の一部です

貝類には 目がありません

休日は、広島までドライブし、アウトレットモールなどに行ってショッピングを楽しんでいます。欲しかったものを購入すると気分も上がるため、いい気分転換になっています。

また、週に一度は回転寿司店に行くほどお寿司が大好きです。コリコリとした食感の赤貝や、ぷりぷりとした食感のホタテなど…。とにかく貝類にハマっています。有休が取れたら、北海道に行って魚介類などおいしいご飯を味わいたいです。



疲れも一気に吹飛ばすほどのおいしさです

私も応援!



将来の現場を担う若きホープ

白石 和樹さん

黒田さんは、いつも笑顔で元気を絶やさないムードメーカー的存在。仕事を十分に理解し、先を読む力もしっかり備わっています。また、目配り・気配り・心配りもできる、頼りになる存在です。最近、新たに立ち上げた自主整備班の仕事も率先して行い、アーク溶接、ガス切断、重機・車両メンテナンスの勉強と日々スキルアップをしています。

◆次号は産機事業部のKirari輝く人をご紹介します。